

一般質問通告表

平成28年第3回始良市議会定例会（9月7日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 新福 愛子	1. 誰もが安心して生涯健やかに暮らせるまちをめざす「マイライフ・ノート」の推進	<p>健康長寿そして最後まで自分らしく生き抜きたいとの願いは万人の願いである。</p> <p>鹿児島県医師会では平成27年度までの3か年に、国の第3次地域医療再生臨時特例基金を活用し、在宅医療に関する関係団体や行政機関が連携して、住み慣れた地域で最期の時まで安心して暮らすことができるようにと取り組む「在宅医療提供体制推進事業」を実施された。その中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の人生を振り返るきっかけに ・自分の歴史を家族に伝えたい ・いざという時に家族に自分の意志を伝えたい ・もし自分が病気になった時どうしたいか記入しておきたい ・もしもの時、連絡してほしい人がいる <p>などを一冊にした「マイライフ・ノート」が好評であったと聞く。</p> <p>エンディングというより、今までの人生を振り返りながら、これからの人生を踏み出すきっかけとなるように作成されている点が評価されたのではないかと考える。</p> <p>市民一人ひとりが、健やかに自分らしい生活をしながら笑顔で暮らすことができる質の高い暮らしの先進地としての始良市をめざし、高齢者だけではなく希望する方々も視野に入れ、「マイライフ・ノート」の取組みを進める考えはないか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. コミュニティ協議会の円滑な活動を推進する環境整備に向けて</p> <p>3. 切れ目のない安心妊娠・出産・子育て支援策の拡充</p>	<p>自治会や子ども会、老人クラブなどの各種団体が地域の問題解決や活性化に取り組む校区コミュニティが17校区でスタートした。</p> <p>地域住民が集うそれぞれの館について、どのような課題があり、その解決に向けた整備はどのように検討されているのかを問う。</p> <p>(1) 出産直後の母子に対する心身のケアや育児のサポートを目指す産後ケア事業の経過と、今後の課題を問う。</p> <p>(2) 鹿児島市では、母親が病気等により患したことにより母乳を与えることができない乳児、多胎児等に対する子育て支援の一環として粉ミルク支給券を交付しており、母子に対するきめ細やかな事業として高い評価を受けている。</p> <p>「子育てなら“あいら”」をめざし、多様な子育て支援策の一環として本市でも取り組む考えはないか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
2. 吉村 賢一	1. 認可外保育所への補助について	<p>認可外保育所はサービス内容・保育料・延長保育など時間的にも自由度が高く、利用者側にしてもメリットがある。</p> <p>認可外保育所の通所者に対しては月額1,000円の補助をしているが、認可外保育所にとっては一銭の補助もない中で月ごとの利用者数の名簿提出など仕事が増えている。</p> <p>現在通所している親からも、この補助に対する感謝の言葉はあまり聞かない。そこで以下について質問する。</p> <p>(1) 認可保育所以外の認可外保育所及び事業所内保育所などに通う子どもは何名か。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 防災に対する日頃の構え	<p>(2) 認可外保育所に対して最低限の基礎条件を設定した上で直接の補助を考えるべき時期と思うがどうか。</p> <p>(1) 災害に対する日頃の行政対応プランはできているか。</p> <p>(2) 現在の地域防災推進員に対してはどこまでの仕事範囲を期待しているのか。</p> <p>(3) 県やNPO日本防災士会と連携は行っているか。</p> <p>(4) 県内の市町村別自主防災組織率は、28年4月1日現在で始良市は80.9%（前年比+1.5）であり、これは奄美市56.4%、東串良町76.8%、出水市75.5%に次ぐ率であるが、この%はどのように集計した数字なのか。</p> <p>(5) 現実に防災組織は私の近く（新生町）で聞いたことはない。集計の実態はどうなっているか。</p> <p>(6) 県や市、交通機関、病院、教育機関、運送機関との連携はどうなっているか。</p> <p>(7) 地域や自治会の避難誘導はどのように取り組むか。</p> <p>(8) 配布された地図（ハザードマップ）の避難所表記は正しいか。データの更新が大切と思われる。また、日頃の避難箇所看板表示が大切と思うが適切かどうか。</p> <p>(9) 常に新しいデータを持ちうる状態が無ければ適切な誘導案内もできない。例えば自治会長、地域防災推進員に対して地図以上にさらに詳しい情報は届けられているのか。</p> <p>(10) 熊本地震の事例を見ると避難場所なども破損して使えなかった例も出て</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>いる。今回想定の避難箇所については問題ないか。</p> <p>(11) 県合同庁舎は災害対策本部になる可能性が高いが、一時緊急避難箇所として何らかのスペースの確保は協議してあるのか。</p> <p>(12) 学校その他の避難施設は、誰がカギを開け閉めするのか取り決めはできているか。</p> <p>(13) 災害発生後の対策として、仮設住宅の予定箇所あるいは瓦礫置場やそれらの分類仕分けの想定はしてあるのか。</p>	
3. 堂森 忠夫	1. 時代の変化に対応した始良市づくりについて	<p>少子高齢化の波は社会のあらゆる分野に影響を与えており、今後、この問題を一步步解決に向けて取り組み、時代の変化に対応した始良市づくりを目指し、次の要旨について問う。</p> <p>(1) 現在、福祉施設の充実を待望する市民の声に応じて、火葬場建設工事が着々と進んでいる。</p> <p>火葬後の遺骨は、墓地や管理型の納骨堂に納めているが、少子高齢化の波に押されて、集落墓地からお寺などの納骨堂へ移す家族が多くなる状況にある。</p> <p>集落墓地の権利を持たない他市町村からの移住者や、身よりのない人や後継者が少ない人など、経済的に高価な納骨堂を購入できない市民のために、市営納骨堂を設置し、管理・運営を行うなど福祉施設の向上に努められないか問う。</p> <p>(2) 2020年以降、多くのサービス業の仕事がなくなるのではと予測されている。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 国民の祝日について</p>	<p>今ある仕事がなくなると、市民は働く場を失い、途方に暮れた日々を過ごすことになるのでは、と将来を危惧するが、そのような危機意識があるのか。</p> <p>その危機を乗り越えるためには、中・長期計画を立てて、10年、20年先の地域づくりの人材育成や、雇用の場を確保するための研究や調査を具体的に検討する会や担当係を設置し、社会の変化にチャレンジして、市民が安心して暮らせる始良市づくりに取り組めないか問う。</p> <p>(3)「将来は何になりたいか」との質問に、「公務員」と述べる生徒や学生が多くなった。</p> <p>団塊世代の高度経済成長時代は既に終わり、民間企業では転換期を迎えている時代であるため、若者社会では安定的な公務員の職業が一番人気に挙げられていると思う。</p> <p>今後は優秀な公務員や市職員が多くなると思うが、その分、試験に合格するために力を注ぎ過ぎて、色々な社会体験に触れる機会を失い、職場での人間関係や判断に迷いが多く、業務に優れた能力を活かしきれない、悩みを抱える職員が多くなるのではと危惧する。</p> <p>市民の声に応えられる職員育成を目指し、農商工業と福祉やスポーツ関連などの職場で、体験研修を定期的に継続実施していく制度を図れないか。</p> <p>(1) 国民の祝日の一つとして平成28年8月11日、山の日が定められたが、この祝日を市は、どのように活かす方針か問う。</p> <p>(2) 山の日の過ごし方はいろいろある</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 旧竜門中学校の校舎について	<p>かと察するが、山に登りたいが時間的に余裕がなく、身近な小高い山登りに挑戦したい市民のために、隈姫神社から高岡公園までの山道整備を図り、憩いの森づくりに市民協働で開拓し、さらには平坦部の休耕田などを活用して、市民が親しむ多目的な「蛍の森」公園を拓き、市民に開放的な憩いの場として開拓できないか問う。</p> <p>加治木地区に現存する中学校の校舎を活用しているなかで、旧竜門中学校の校舎は、他の校舎に比較して補修・改造や耐震補強等の工事は遅れているのではないか。</p> <p>今後は、時代の変化と地域の情報発信基地として活かすためには、複合的な用途の建物として建て替えを推進し、地域を存続するための次世代育成や、地域活性化のために多目的施設として、施設建設の事業を図れないか。</p>	市 長 教育委員長
4. 湯元 秀誠	1. ふるさと納税のしくみについて	<p>ふるさと納税制度(ふるさと応援寄付)は始良市のホームページに詳しく掲載され、「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」へ貢献したいといった納税者の「ふるさと」へのあつい思いを所得税、住民税の一部が寄付金として制度化されているものである。</p> <p>(1) 始良市のふるさと納税の業務は、県外業者に委託されている。</p> <p>始良市を応援したい方々が「ふるさと始良市民は活力ある、魅力あるまちにしたいという本気度はあるのか」と疑念を持たれている。</p> <p>委託に至った経緯を説明し、ホームページでも公開すべきであるが問う。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 蒲生の大山地区の公民館施設の移転・設備の要望について</p>	<p>(2) 市の委託料としながらも、納税者（寄付者）からの支援行為の一部が手数料として県外へ流出されていることになるが、委託料はいくらか。</p> <p>(3) 申請の受付から返礼品の仕分けや発送など市内の商工会やJAなどの連携を図り、母体づくりをすべきだが、考えを問う。</p> <p>(4) 霧島市の取組みでは「霧島市ふるさと納税タイアップ事業者の募集」で制度の趣旨に合致した取組みがある。始良市の取組みを問う。</p> <p>(5) ふるさと納税の住民税控除の特例控除額の増加の変更がなされたが、申請に反映しているか。</p> <p>(6) 納税者の方々は使途については、どのような希望をお持ちか。また、使途については納税者にどのように伝えられているか問う。</p> <p>(1) 大山地区の公民館施設の移転・整備の要望書が提出されている。その対応はどのようになされているか。</p> <p>(2) 今年度に入り、始良市は梅雨時に2回の集中豪雨にあい、大きな災害に至ったが、住民の避難も各自治会で行われていた。</p> <p>高台の崖上、崖下に位置する大山地区の公民館敷地のひび割れ等は避難所としては大きな不安の要因であり、また水道の施設も破損していて欠陥だらけである。大山地区の避難所対策はどのようなされたか問う。</p> <p>(3) 大山地区は川内原子力発電所の30キロ圏内に入り、「電源立地地域対策交付金500万円×10年」を活用して公民館施設の移転設備を希望されている。</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>交付金の使途は、市の計画で活用されるものであるが、緊急性のある事業は組み換え予算でも対応すべきであるが、考えを問う。</p>	
5. 上村 親	<p>1. (仮称) 森山線踏切について</p> <p>2. ふるさとハローワーク移転について</p>	<p>平成28年都市計画課の街路事業で社会資本整備総合交付金事業により、市街地の骨格となる都市計画街路「森山線及び松原線」の計画が示された。</p> <p>今年度の計画は、森山線141メートルのうち123メートルが工事着工となっている。</p> <p>(1) この森山線と松原線の工事完了は、いつ頃になるのか。</p> <p>(2) 日豊本線(仮称森山踏切)については、平成9年にJRと始良町で計画協議を重ねてきていると思うが、その内容を示せ。</p> <p>(3) 平成17年にJRは平面交差について、運輸局の考えを求めている。運輸局は、平面交差については難色を示すも、複数の踏切を廃止の条件として了解している。その後、第1東原踏切、第2東原踏切、建昌踏切の3か所を廃止しているが、茶工場踏切の廃止が進んでいないのは、地域住民の理解が得られていないのか問う。</p> <p>(4) 本年度この件で、JRと始良市で協議をしているのか。</p> <p>(5) 森山線と松原線の全線開通と同時に、仮称森山線踏切の設置を考えているのか。</p> <p>平成23年始良ふるさとハローワークを開設して、5年が経過している。求職者の動きは、新規求職者、在職求職者、離職求職者を含め相談者件数は、年間1</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>万人を超え、就職者数も年間1千人を超えている状況である。</p> <p>(1) 場所等については、5年ごとに見直すことになっているが、本署と協議しているのか問う。</p> <p>(2) 現在、相談員4名、職員1名、パソコン5台で対応しているが、ハローワーク全体のスペースを含めて充分機能しているか問う。</p> <p>(3) 将来のことを考えたとき、現在の場所よりイオンタウンに移転したほうが、利用者の利便性が高くなると思うが考えを示せ。</p>	

